

別記様式（第4条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	第14回朝霞市新型コロナウイルス対策本部会議	
開 催 日 時	令和2年10月30日（金）	午後4時30分から 午後4時40分まで
開 催 場 所	朝霞市役所別館2階 全員協議会室	
出 席 者	富岡市長、關野副市長、三好教育長、荻野消防署長、神田市長公室長、田畑副審議官（危機管理監代理）、須田総務部長、清水部次長（市民環境部長代理）、菊島部次長（福祉部長代理）、麦田こども・健康部長、笠間都市建設部長、宇野審議監、金丸副審議官（会計管理者代理）、田中部次長（上下水道部長代理）、村山議会事務局長、金子学校教育部長、神頭生涯学習部長、渡辺監査委員事務局長 （事務局）＜健康づくり課＞金子課長、寺元係長、磯部主任 （危機管理室）中島室長補佐 （シティ・プロモーション課）星加課長、比留間係長 （長寿はつらつ課）望月主幹	
会 議 内 容	（1）市内高齢者施設における感染者の発生について （2）その他	
会 議 資 料	第14回朝霞市新型コロナウイルス対策本部会議次第	
会 議 録 の 作 成 方 針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	■要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間		<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去
		<input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
会議録の確認方法		
そ の 他 の 必 要 事 項		
審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）		

1 開 会 第14回朝霞市新型コロナウイルス対策本部会議を行うことを報告

2 議 題 富岡市長が本部長となり、議事進行を行った

(1) 市内高齢者施設における感染者の発生について福祉部より報告

福祉部

施設概要について

- ・新型コロナウイルスの集団感染が発生した施設は三原5丁目にある介護付有料老人ホームSOMPOケア ラヴィーレ朝霞。
- ・当該施設は介護保険のサービスが施設内で受けられる有料老人ホームで、対象者は65歳以上で、介護保険制度の要支援以上の認定がある方。
- ・令和2年度10月28日時点で入居者80人、スタッフ51人（内、市民16人）の計131人。

コロナ患者発生状況について

- ・入居者80人中27人、スタッフ51人中11人が陽性であったが、本日15時の保健所からの速報により、追加で18人の陽性が判明し、計131人中56人が陽性となる。
- ・検査実施者は115人で、31日までに残り16人の検査対象者が判明する予定。
- ・状態悪化による救急搬送車は4人。

施設の対応について

- ・施設の消毒は完了。
- ・入居者全員の家族等への周知を実施。
- ・会社のホームページにて、感染について公表予定。

県の対応について

- ・29日に県の感染症対策班（クラスター対応班）が調査及び指導を行っている。
- ・30日夕方、クラスター発生施設として記者発表予定。

市の対応について

- ・市内介護・障害者の事業所に対し職員の健康管理の徹底を強調した注意喚起を実施。
- ・再度、事業所に対して、クラスター発生の周知と注意喚起を実施。
- ・市のホームページで入居施設の事業所を明記した公表を行う。また、市民に対して注意喚起を掲載。
- ・議員に対しての報告は、県の公表に合わせてその都度実施。

こども・健康部

- ・今回の発生については、施設内での発生であり、市中感染が広がっているととらえなくて良いと考える。
- ・これまで市中感染が広がった際に対応していた公共施設の閉鎖やイベントの中止は行わない前提で、今後の市中感染の状況を見る。

3 閉 会